

むかし話のあらすじと、正しい「だい名」をせんでむすびましょう

1

おにたちのえん会にぐうぜんいあわせたおじいさんが、おどりをひろうするはめになりました。すると、おにたちにおどりをほめられました。ひよんなことからずつと気にしていたあるものを、とられてしまいます。

- こぶとりじいさん

2

おじいさんがきつねの子どもに木のみをとってあげました。ある日、子ぎつねと母さんぎつねからおれいにと「頭きん」をもらいました。頭きんのおかげで、長じやさまのむすめがやまいにふせているりゆうが分かりました。

- かちかち山

3

元気な男の子は、山のくまとすもうをとってかつほどの力もち。なかまのどうぶつたちと出かけているとき、はしがなくなっていることに気がついた男の子は、木をたをしてはしのかわりにしました。

- 聞き耳ずきん

4

うさぎとたぬきが出てくるおはなしです。わるいたぬきのせいでおばあさんがなくなり、なげきかなしんでいるおじいさんを見たうさぎが、おばあさんのあだうちのためにたぬきたいじをします。

- 金たろう

